

女がいつまでも元気だということは
「セクシー現役」でもありますね。



さて「セクシー」って、女の専門用語? 専売特許?

さて使い方で人格がわかるものの代表に「お金」とよく言われます。そのお金で何を満たすのか、何を手にするのか、さまざまです。お金には願いを叶えてくれる「威力」がありますね。それは昔も同じで「金は阿弥陀ほど光る」って、そう言っていました。

ところで「お金をセクシーに使う」。そのものズバリではなく、「セクシーなお金の使い方」もきっとあるはず。その技がもし身に付けられたら、お金を本当に上手に使いこなせる人になれる第一歩かもしれません。だって、お金もセクシーもあぶない同士。これはスリリング。草食系には決してできないタ・ノ・シ・ミ!



人の心をくすぐるために、自分はどんなスキルや道具を持っているのか?
たまには振り返ってみましょう。「セクシー現役」って、やっぱり大切な女の勲章!

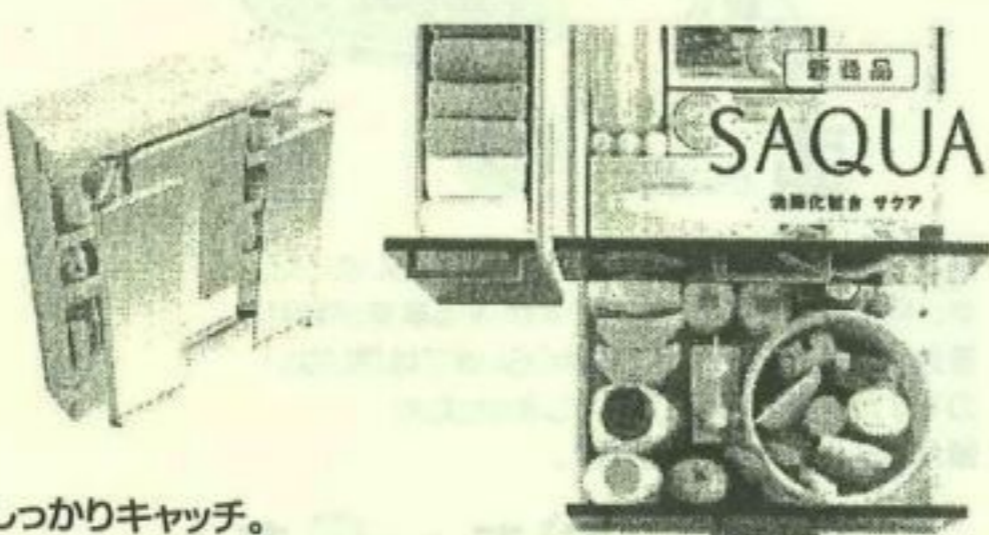
これはちょっと「驚き」。

こんなワイドな洗面ボウル、こんなにビッグな収納スペース。
洗顔も洗濯もゆったりできる広さ「サクア」(TOTO)



収納だって、もうこれだけあれば
見やすく出し入れしやすく、
ストレスなし。

三面鏡の裏もすべて収納スペース!



作業しやすい広いボウルスペースは、腕を伝って床にこぼれていた水をしっかりキャッチ。
ボウルの手前は押し洗いしやすい形状で、容量もたっぷり。
厚手のセーターなど、かさばる衣類もしっかり洗えます。

▼お問い合わせは

春建設 〒840-0861 佐賀市嘉瀬町中原 2015-11 TEL24-0749



その心は、大量生産、大量消費、大量破棄社会からのGood Bye!
あり余っているから、すぐお金で買えるから、いつでもどこにでも捨てられるから。
そんな社会と暮らすが、本当に望んだものなのか、快適なのか。
これからはまず疑おう。それには、きちんとして、わかりやすく一流の物差しがある。
その物差しは、風土と季節、文化的、伝統的がいい。
みんなに共通で、しかも変わることがないから。日本人なら毎日の生活の中で使いこなせるから。

暮らしの歳時記 インテリアの室礼

四季折々の行事の心や季節の情緒をあらわすことのできるインテリアの室礼。
昔から伝えられてきた暮らしを大切にしながら、これからの生活をより豊かに楽しみたい。
そんなちょこっとアレンジしたインテリアの室礼をご紹介します。

2月の歳時記 「節分」の室礼

2月3日といえば、節分。昔は「せちわかれ」といって、季節が変わる節目のことをいいました。
立春、立夏、立秋、立冬の前日はすべて節分といわれていました。そして今では、春の節分だけが行事として残っています。
新しい春を迎えるために家の中の邪気をはらい、福を招き入れる豆まきを行うのです。

節分といえば豆まきですが、その由来は中国から伝わった「追儺(ついな)」の儀式にあるといわれています(別名鬼やらい)。立春は旧暦では立春正月といい、この前日の節分の日には年の暮れにあたり、邪気祓いの行事がおこなわれてきたのです。一般には一家の主などが「鬼は外、福は内」と唱えながら煎った豆をまいて鬼を追い払い、災厄を祓うのです。そしてまき終わった豆を、自分の年の数、またはそれに一つ加えた数え年分を食べます。来る新春もまめ(達者)でありますように、と祈りを込めながら食べましょう。

節分の室礼としてのアイテムはいろいろあります。

・鬼面

邪気を意味します。飾り用は折り紙で手軽に作ってみるのもいいでしょう。



・升ふたつ

ますます福があるように二重に重ねてディスプレイします。



・豆

「魔目」に通じ、鬼の目を打つためのもの。邪気払いを意味します。煎った豆は「射る」に通じています。升の中に入れて豆まきをしますが、飾りつけをするときには竹かごに入れてディスプレイするのも素敵ですよ。



・柊(ひいらぎ)

葉っぱのトゲが魔除けになるとされ、鬼門の方角に植える木。お部屋にディスプレイするときは、ちょこっと工夫してみましょう。グラスに柊の一枝を入れ、水を注ぎます。その上にキャンドルを浮かべて火を灯してみてください。ゆらゆら揺れる炎が幻想的でおしゃれです。



・鯛(めさし・焼かかし)

鬼の轡(おび)においとされています。柊の小枝に鯛の頭を刺して玄関先に飾ると、柊のトゲと鯛の悪臭が鬼を退散させると言われています。



・こん棒(あたり棒)

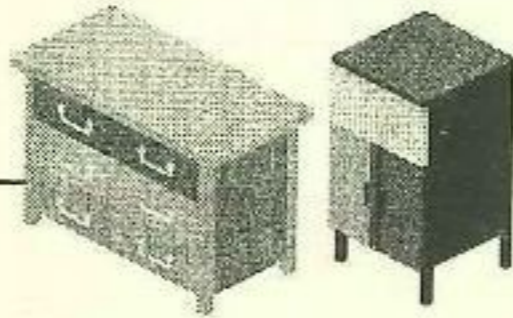
山椒の木の幹。鬼退治の武器になるとされています。

節分で邪気払いをおこなったら、2月4日は立春。春の初めの日です。この日から立夏までを春といいます。暦の上では寒さが頂点となり、まだまだ厳しい日が続きます。しかし確実に春は近づいています。梅の花のつばみの膨らみなど寒い日々の中に、小さな春を見つけるのも楽しみです。

大切なものを賢くしまう 収納術



「もの」がいっぱいの現在。住まいの収納は大きな関心事のひとつになっています。住まいにある様々な「もの」はその収納場所や収納方法に決まりはなく、それぞれのライフスタイルで自由にできるものです。豊かな発想と自由な表現で楽しい収納を考えましょう。



収納の基本ととらえ方

収納には一般的な決まりはないのですが、収納を効果的に行うための基本はあります。

- ◆ 使いやすさを優先する(使う場所の近くに収納する)
- ◆ 収納場所は仕切って増やす
- ◆ ラベルや色で中身がわかるようにする

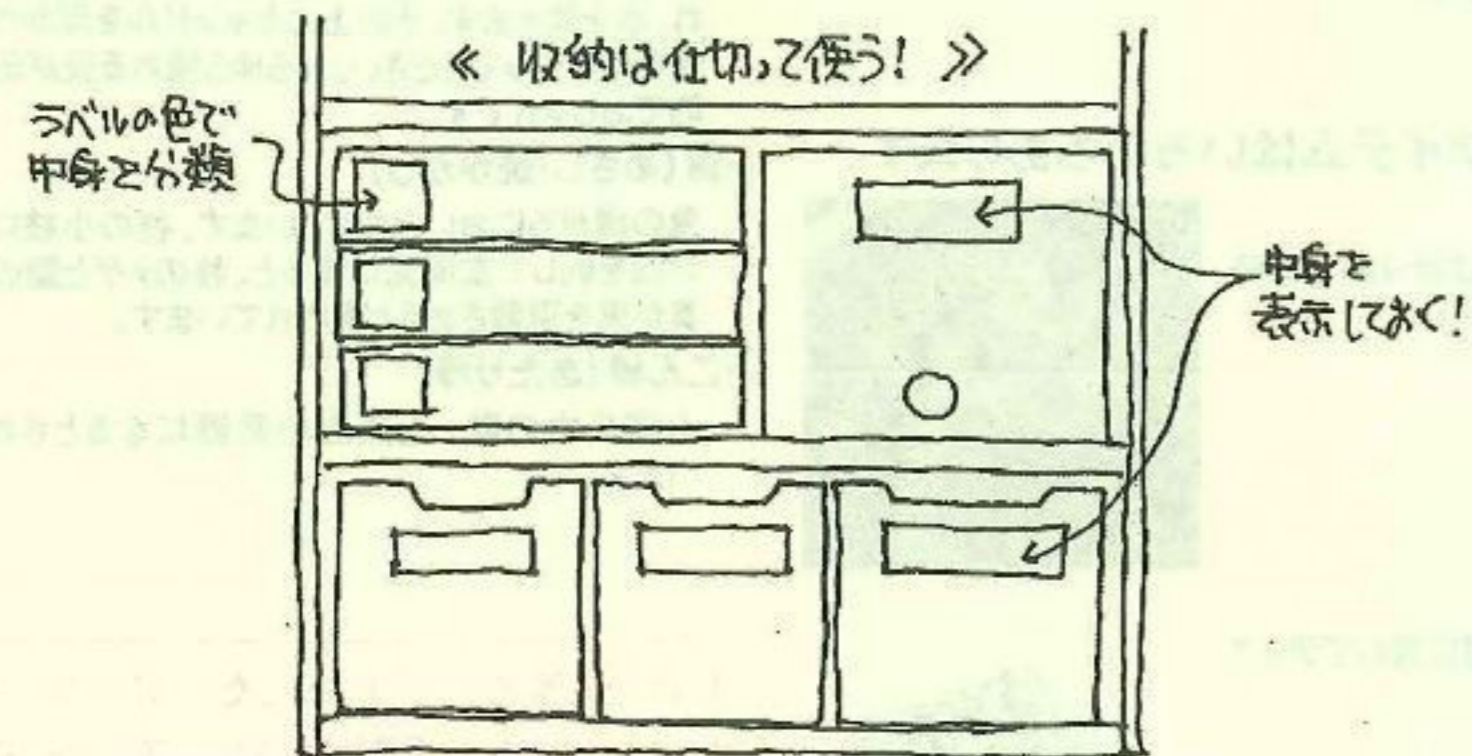
このように収納を効果的に行うためには、「整理」のしやすさを想定しながら行いましょう。例えば使う場所の近くに収納することで、使うときの便利さとともに使い終わった後の片付けも楽になります。同じ「もの」を2箇所で使用する場合、その「もの」を2つ用意し別々に収納しておくことも効果的です。さらに収納場所を仕切ることで見た目のスッキリさ以上に「もの」を見つけやすくなります。また中身が想定できるように表示すれば使い勝手がさらによくなります。



収納するというをどのようにとらえるか(考えるか)によっても収納方法や場所が変わってきます。収納のとらえ方としては

- ◆ 収納は隠すことである
- ◆ 収納は備えることである
- ◆ 収納は整理することである

自宅にある様々な「もの」を隠したいと思う場合、予備や買置きをストックする場合、ストレスなく使いたい場合のそれぞれで、収納が変わるということです。住まいにあるそれぞれの「もの」がどのような性格の「もの」なのかを考えながら収納方法を検討しましょう。



こもだるさんの子育て日記

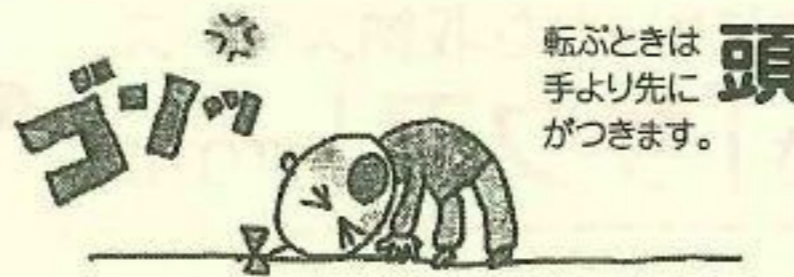


頭を大切に

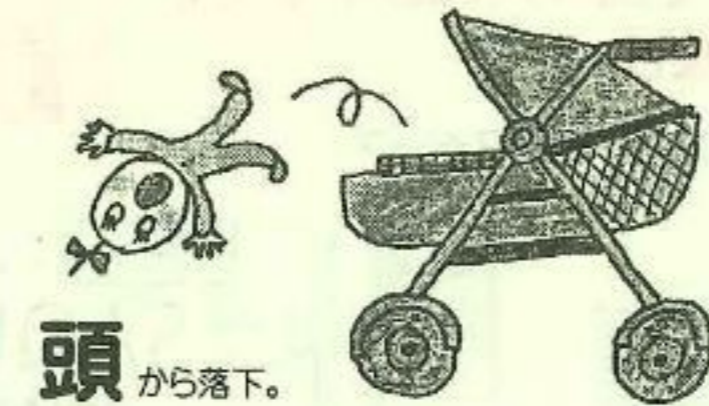
超未熟児 **835g** で誕生した美優。最近ではヨチヨチ歩きも上手になってきました。



こんなに小さくても、やはり頭が重たいようです。

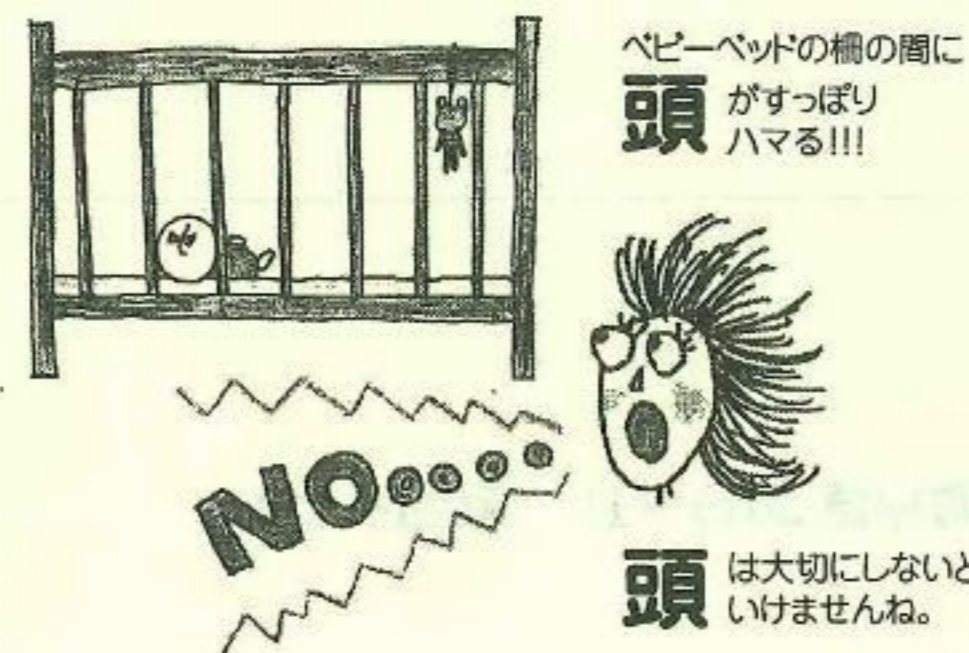


ベビーカーの下をちょこっと覗いてみたら...



急いで病院へ行き、レントゲンを撮ってもらいました。幸い何の異常もなかったのですが、ある事実が判明。普通は頭蓋骨の上部が1歳半くらいまでは閉じないのですが美優は早くに閉じてしまったため、頭が超~小さいのだそうです。

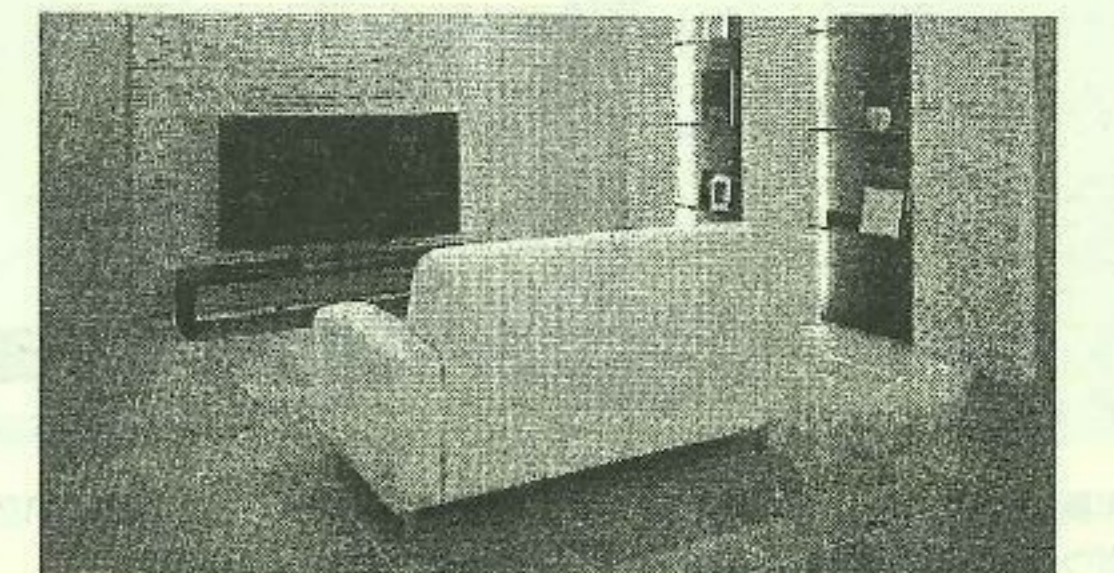
だあ~かあ~らあ~



家が完成するまでには、さまざまな専門の職人が関わります。その職種はおよそ二十。面白いのは棟梁の下に、突如現れ、自分の持ち場が終わると、疾風のように去っていくありさま。家づくりを知るには多々あれど、職人の役割を知れば、それは生きた勉強。

「内装」に使うこそ 素材と職人の技が発揮できる タイルのインテリア。

タイル貼りの技術の最も難しいところは、壁にまっすぐな線を引き、レベルを合わせる(同じ高さを出す)こと。タイル自体のデザインや工法にも様々あり、最適なものを選択するにはかなりの知識と経験が要求されます。作業面でもタイル職人はこだわりを持った手作業が好きで人にしか向かない(他の職人間の話)そうです。そのタイル、実は明治時代に西欧から到来しましたが、向こうでは外壁にタイルを張るという習慣がほとんどなく、コンクリートにモルタルを塗って張るタイル職人は日本独自の技だそうです。その技を外壁よりもインテリア・タイルに活かしてみると、本当に世界でたった一つの空間が実現できますよ。



INAXタイル

水六輔「職人」より
育ちがいいというのは、
昨今では大きな欠点ですわね。
だって、たくさんの可能性から
締め出されてしまいますもの